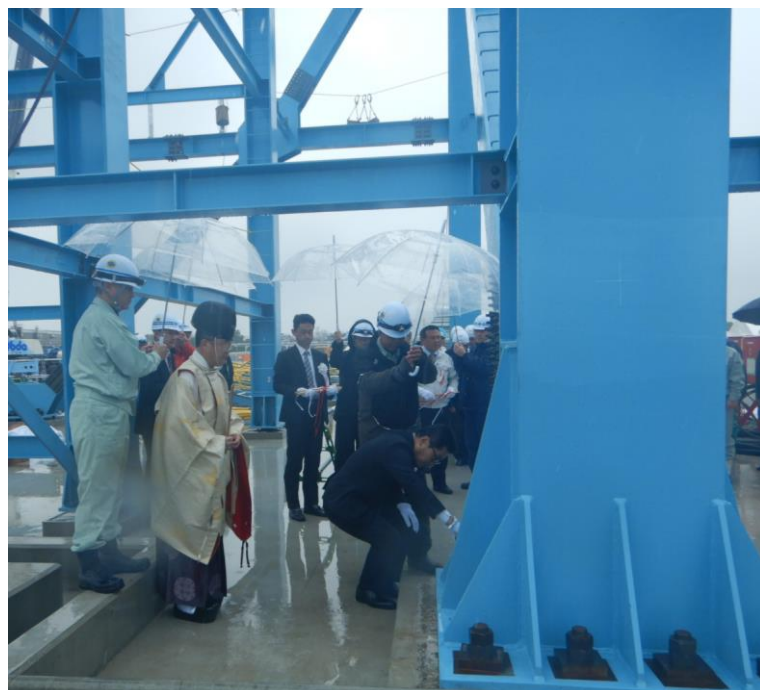




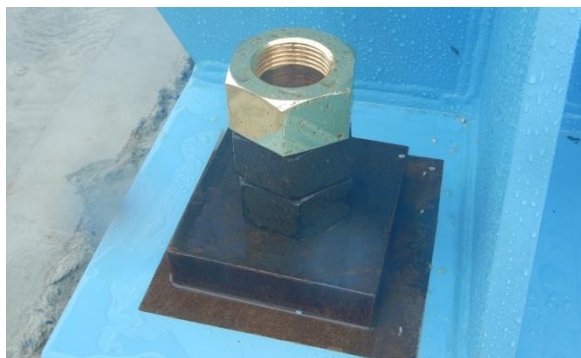
防府バイオマス・石炭混焼発電所 建設所だより



ボイラー建屋立柱式を行いました



▲竹中工務店株式会社 防府発電所土木建設工事作業所
所長 藤井様(左)、AWEP山口株式会社 横田所長



▲立柱の儀に
よって取り
付けられた
ボルト

▲立柱の儀 ナット差しの様子 住友重機械工業株式会社
取締役エネルギー環境事業部長 小島様



▲玉串奉奠(たまぐしほうてん)の様子

左から 竹中土木株式会社 防府発電所土木建設工事作業所 所長 白武様、中電プラント株式会社 常務取締役 新久保様、与田リース株式会社 堀江様、富士電機株式会社 営業本部 中国支店 支店長 猫沖様

1月22日、佐波神社 田中宮司様の祭司のもと、ボイラー建屋の立柱式を執り行いました。みぞれ混じりの生憎の天候の中でしたが、施工会社の方々にも含め、総勢35名の参列者の方にお集まりいただき、プラント建設工事の安全と末永く災いのない建物として栄えることを祈願いたしました。

安全祈願を執り行いました

毎年の恒例行事、年始の安全祈願を1月4日に地域の氏神様である防府市内の佐波神社にて執り行いました。今年一年の無事故・健康をAWEP山口所員一同で祈願いたしました。





2018年2月末時点 工事進捗状況



排水処理エリア

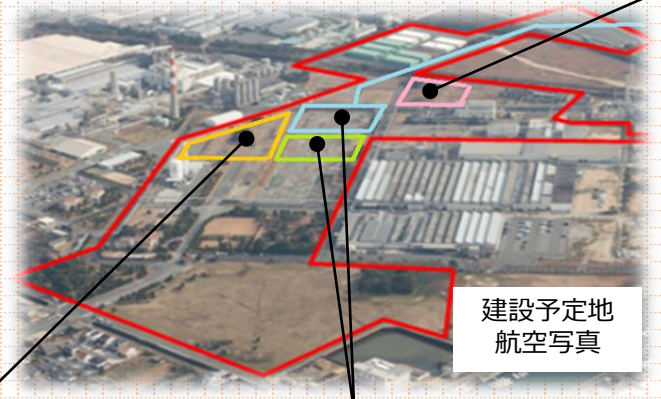


佐波川から運ばれてきた水(工業用水)を敷地内に引き込むための配管が完成しつつあります。この配管を通じて、発電時は1日に約9,000tの水を使用する予定です。

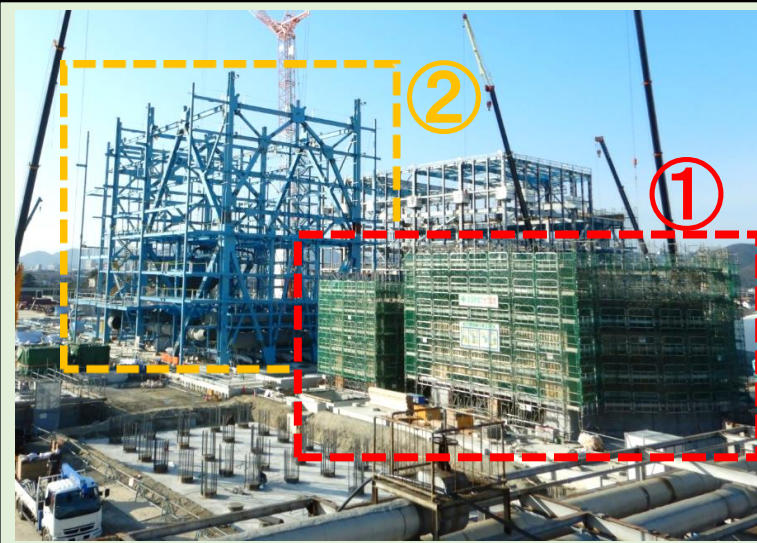
タービンエリア



タービン建屋の骨組みが5階まで建設されました。タービン本体は後から取付けとなるため、屋根や壁に機器設備搬入用の開口部を設けています。復水器や発電機の重量物の搬入には、500トン級の大型クレーン車を用います。



マテハンエリア ボイラエリア



手前の建物①が石炭を溜めるタンクの基礎部、奥の青い鉄骨建物②がボイラー棟です。ボイラーは現在約30mの高さまで建設が進んでおり、背後の建物がすっかり見えなくなりました。完成時には約60mとなるため、今の2倍の高さとなり、防府の市街地からも発電所が見えるようになります。

新しいメンバーを迎えました

2月より、新しく8人のメンバーを迎えました。左から山本、村上、原田、植野マネージャー、岩本部長、見高、空、平岡です。AWEP山口、総勢22名で一丸となり、これからも発電所建設に邁進していきます。

